

かむなぎべのまそをどめ  
巫部麻蘇娘子の歌二首

七〇三番

我が背子を 相見しその日 今日までに 我が  
衣手は 乾る時もなし

七〇四番

たく縄の 長き命を 欲りしくは 絶えずて人を  
見まく欲りこそ

おほどものすくねやかもち  
大伴宿禰家持、  
めのわらは  
童女に贈る歌一首

七〇五番

はねかづら 今する妹を 夢に見て 心の内に  
恋ひ渡るかも

めのわらは  
童女の来報ふる歌一首

七〇六番

はねかづら 今する妹は なかりしを いづれの  
妹そ そこば恋ひたる